

詫間

広報紙 2018. 1 第11号

まちづくり

発行 平成30年1月1日

編集 特定非営利活動法人
まちづくり推進隊詫間

三豊市詫間町詫間1338番地13 ☎ 83-3639

HP takumatai.mitoyoshi.com  <http://www.facebook.com/takumatai>



特定非営利活動法人
まちづくり推進隊詫間

理事長 本田 進

新年あけましておめでとうございませう。

日ごろは「安心して、安全で健康的な生活が送れる、魅力的なまちづくり」を目指して活動している「特定非営利活動法人まちづくり推進隊詫間」にご理解ご協力いただき感謝しております。

本年度は「第35回地域づくり団体全国交流研修会香川大会」が香川県全域で開催されました。私たちは三豊市が担当した「第7分科会三豊市ブロック」に参加し、自分たちの取り組んでいる地域づくりの一例として、「子どもガイド養成事業」を取り上げ、実際に子供たちに活動させ参加者に体験してもらおう中で発表しました。発表は好評で北は山形県から南は沖縄県までの参加者から賛辞や様々な意見や提案を聞かせて頂きました。これらの声を私たちの活動のなかへどのように取り入れ実践していくかがこれからの課題です。

まちづくり推進隊詫間では委譲業務事業や自主事業で50以上の事業に取り組んでおりますが、そのうち、指定管理事業では松崎コミュニティセンターと箱浦ビクターハウスの2箇所の管理業務を受け、自主事業と関連付けながら利用率や利便性の向上を図り、同時に地域の活性化と賑わいづくり、同時に地域の活性化と賑わいづくりにも取り組み、成果を上げつつあります。

そのほか防災フェスタ、健康講演会、各種補助金を活用した講演会や講習会などの事業にも取り組み、市民皆様方の健康や安全、安心に寄与するとともに自己研鑽にも努めております。

まちづくり推進隊詫間は今後とも市民の皆様方の要望をお聞きし、地域の活性化を考えながらよりよいまちづくりを目指して活動していきます。変わらぬご理解ご協力をお願いいたします。

平成三十年一月一日

平成29年度事業

防災フェスタ 2017

南海トラフ地震発生予測等、想定を超える被災が考えられるなか、専門家はあらゆる事態を研究し、対策に余念のない日常です。そのためには毎日の生活、行動のなかで意識を高めていくことが大切です。

「防災フェスタ」の開催は少しでもそれらの一助となるよう企画し、毎年実施。地域住民の命を守るため、皆様の積極的な参加と意識高揚に努力をしています。



消太



避難訓練



今年、「防災・減災標語」応募者の表彰と地震体験車(起震車)、キッチンカーを派遣していただきました。日常の防火訓練においても「テストセンセイ」(水消火器)を使用した消火訓練、AED、防災頭巾の手作り体験、ハイゼックス袋を使った非常食の作り方等々、様々な工夫の中で体験していただきました。

詫間幼稚園山名、詫間保育所50名の幼年消防団161名のパレード、防災宣言、シエイクアウト。その真剣なまなざしは参加している保護者、一般参加者の心に響くものがありました。参加した60名以上の方々には防災・減災に関する多くのことを学ばれたのではないのでしょうか。

防災フェスタ 2017



非常食作り (ハイゼックス袋)



幼年消防団コーナー



消火器体験コーナー



起震車体験コーナー



優秀作品の紹介・表彰



最優秀賞・優秀賞・佳作の紹介

自分の身は自分で守ろう
自分達の地域は
自分たちで守ろう！

<p>佳作</p> <p>山名幼稚園の九九歌 やまがやまの九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌</p>	<p>佳作</p> <p>山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌</p>	<p>優秀賞</p> <p>山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌</p>	<p>最優秀賞</p> <p>山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌 山名幼稚園の九九歌</p>
---	---	--	---

88名の代表作です。

部会活動報告

「安全度向上部会」

初の防災・減災標語の募集を行いました。応募者は詫間町内の小学校6年生の皆さんです。大浜小学校5名、詫間小学校62名、松崎小学校21名、総数88名のみなさんが一生懸命に英知を發揮してくれました。最優秀賞1人、優秀賞3人、佳作10名を顕彰いたしました。

災害はいつやってくるかわかりません。その時、応募された全員が主体者になって最小限の被害に食い止めてくれることを祈ってやみません。主催者一同最大の敬意を表します。ありがとうございました。

「健康度向上部会」

「ラジオ体操とウォーキング」

毎月二回、第二と第四火曜日、ラジオ体操で体をほぐした後、シーマックス駐車場を起点に約1時間半町内を歩いたり時には宝山湖まで出向き周辺を歩いています。

途中顔見知りの方と話をしたり、時には差し入れを貰ったり楽しく健康的な汗をかいています。・・・どなたでも参加OKお待ちしております。

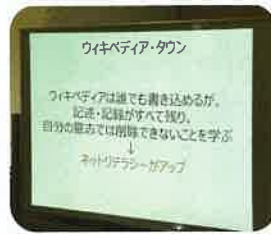


「魅力度向上部会」

「地域の伝説をウィキペディアに」

まちづくり推進隊詫間が主催するウィキペディア（インターネット上の百科事典）を使ったワークショップが行われました。

このワークショップは、インターネットを通じて、詫間町に伝わる伝説を発信し、地域の活性化を図ろうというものです。参加者は、講師から編集方法を教わり、「浦島太郎伝説」についての関連情報を編集していきました。今後はさまざまな書籍から情報を収集し、ウィキペディアに投稿していくものです。



地域の伝説をウィキペディアに
11/5 亀崎ビクターハウス
まちづくり推進隊詫間が主催するウィキペディア（インターネット上の百科事典）を使ったワークショップが行われました。このワークショップは、インターネットを通じて、詫間町に伝わる伝説を発信し、地域の活性化を図ろうというものです。参加者は、講師から編集方法を教わった後、「浦島太郎伝説」についての情報を編集しました。

「まちの魅力発信拠点事業」

訪問理美容がオープンいたしました。

九月より第四木曜日、お昼一時〜四時までお店を開いております。カット、顔そり、パーマ、毛染め（カット、シャンプーブローを含む）訪問理美容の「レック」さんです。おしゃべり、お茶のみなど、お気軽にどうぞ。



「たくま港まつり」

「第46回たくま港まつり」

平成29年度「第46回たくま港まつり」が盛大に開催されました。当日は天候に恵まれ、姉妹交流の徳島県美波町からも来場され交流を深める催しとなりました。

幼・保・小そして一般参加による賑やかな踊りがステージ・グラウンドを埋め尽くしました。「やしろ優」のステージは参加者とともに楽しいひとときが繰り広げられ、一千発以上の花火は参加者の驚嘆と歓声が入り交じり、一大絵巻のなか最高潮に盛り上がりました。

「花と浦島イベント実行委員会」

11月21日、松崎、大浜小学校27日詫間小学校がフラワーパーク浦島で花植え体験を行いました。

両日とも天気がよく作業が進み、予定以上の花の苗を植えることができました。

最後に児童代表から、花植えは難しかったが春に花が咲いた時ここに來るのを楽しみにしていますと挨拶がありました。



花と浦島イベント実行委員会

浦島太郎旗争奪少年少女スポーツ大会

6会場で61チーム750人が参加して行われた第31回浦島太郎旗争奪少年少女スポーツ大会は連日の炎暑が続くなかでの開催でした。

各会場、各ブロックでは選手、ギャラリイが一体となって熱のこもった試合が繰り広げられました。



結果

【軟式野球】

優勝 仁尾ベアーズスポーツ少年団

準優勝 丸亀城南軟式野球スポーツ少年団

優勝 満濃南ジュニアバレーボールクラブ

準優勝 満濃南ジュニアバレーボールクラブ

【バレーボール】

優勝 満濃南ジュニアバレーボールクラブ

準優勝 満濃南ジュニアバレーボールクラブ

三位 まんのうブルース トーム男子

三位 トーム男子

三位 トーム男子

三位 トーム男子

三位 トーム男子

三位 トーム男子

【剣道】

高学年の部

優勝 順正館A

準優勝 仏生山剣友会B

低学年の部

優勝 仏生山剣友会A

準優勝 直心館千葉道場A



三豊市自治会連合会 詫間支部

自治会連合会詫間支部研修会

今年の7月第1回研修会を開催いたしました。7月4日(火)、バイオマス資源化センター、危機管理センターの見学。横山市長との対話集会「にぎわい創生事業」を行いました。

バイオマス資源化センターではあいにくの雨(台風3号の影響)それも土砂降りの中、トンネルコンポスト方式による燃やせるゴミ(生ごみ)処理施設で日本初といわれる三豊市のリサイクル技術を見学し、危機管理センターでは災害発生時の対応等について香川県との連動で対応できるシステムであることを教わり、心強く思いました。

市長との意見交換会は詫間町内の造船所跡地の活用、永康病院の維持管理、空き家対策等に対し、献身的に自治会の活動を展開される自治会長による活発な意見交換が行われました。



地区衛生組織連合会 詫間支部

ごみの資源化施設の視察

今年、10月11日今年4月から稼働している『バイオマス資源センターみとよ』へ出かけました。参加者は、施設の説明を受けた後工場見学を行い、これまで燃やしていたゴミをどのようにして資源化し再利用しているのかについて関心が高く、再資源化されたものの利用先、設備に関すること等多くの質問を行い有意義な研修となりました。



第3回資源回収の予定

- 2月第1日曜…第一分館
- 2月第2日曜…第二分館
- 2月第3日曜…第三分館
- 2月第4日曜…第四分館
- 3月第1日曜…第五・六分館

*最新のまちづくり活動は随時フエィブックでお知らせしております。